

横浜市がすすめる IR 誘致に反対します。

#### 反対理由

##### 1. 横浜市民への説明責任を果たさないまま計画を進めていること

横浜市民の理解づくりを理由に計画された市内 18 区の IR 説明会は、新型コロナウイルス感染予防を理由にまだ開催することができない状況にあります。市民への説明が不十分な状況であることを認識しながら、「横浜 IR の方向性（素案）」についてのパブリックコメント募集は計画どおりに始まり、また、林市長からはパブリックコメントに反対が多くても計画は中止しないと発言がありました。このような計画推進ありきのプロセスには大きな問題があると考えます。

##### 2. カジノによるマイナス経済効果に大きな懸念があること

・ IR は、カジノ施設を主たる収益とする計画です。カジノは、破綻する人を増やせば増やすほどに収益を上げる、人の不幸で成り立つ事業であり、多重債務による家庭破綻、ギャンブル依存症、マネーロンダリング、犯罪増加などその長期的なマイナスの経済効果には大きな懸念があります。

・ ホテルや劇場、レストランと言った非カジノ施設はそれぞれの事業部門で利益を出さず、カジノの賭け額のポイント還元で利用できるサービスを展開し、基本的に利用客は IR に囲い込まれることとなります。その結果、地元の飲食店や宿泊施設は不公平な競争を強いられることが予想されます。IR がカジノ収益に頼るビジネスモデルである限り、地域活性化にはつながりません。

私たち横浜北生活クラブ生協は、横浜市民として当事者意識を持ち、生活クラブ運動グループと呼ぶ地域で活動する事業者や団体と連携し、地域課題の認識から課題解決策を考える活動を展開しています。いつまでも子や孫に誇れる横浜市であってほしいという願いを込めて、横浜 IR 計画の見直しを求めます。